

(For School teacher)

Form 5

平成22年11月 15 日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 長野県屋代高等学校・教諭 清水久樹

2. 参加研究者: Stephen P. Obrochta

3. 実施日時: 平成22年11月 5日 (金) 13:20 ~ 14:25

4. 参加生徒: 2年生 33 人、 1年生 1人、 0年生 1人 (合計 33人)
備考: 理数科の生徒

5. 講演題目: (英文)

(和文)将来の気候はどうなる?! 気候システム理解のための過去の気候復元

6. 講演概要: 別紙参照

7. 使用言語: English

8. 講演形式:

(1) 講演時間 60 分 質疑応答時間 5 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など)

プロジェクター使用による講演

(3) 通訳 (例: 受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

外国人研究者本人による日本語説明

協力者 職・氏名

英語教諭 前嶋 功

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金

10. その他特筆すべき事項: